



Hino Advancement Center Newsletter

日野振興センターだより

令和2年6月発行 no.29

INCENT

【特集】

～災害から身を守ろう～

- あつとびっくD!! 快適! 安全! 機械化がすすんでいた林業の現場
- 新嘗祭 今年江府町から献上
- 入牧開始 ～日野郡の和牛放牧の取組～
- 新型コロナウイルス感染症を予防し、健康的な生活を送りましょう。
- 日野郡で輝く人「道の駅にちなみ出荷者協議会」
- 身近な動物、「タヌキ」の話
- 住み慣れた地域で暮らし続けるために
地域を守り、元気になる取組が始まっています!

②いつ危険なの?

土砂災害の危険性がきわめて高くなった時に「土砂災害警戒情報」が町単位で発表されます。土砂災害警戒情報は、防災行政無線、テレビ、ラジオ、あんしんトリピーメール等でお知らせしますが、発表された時は、土砂災害の危険度が真に迫っていることを認識してください。

町単位で発表される土砂災害警戒情報を補足する情報として、地域の土砂災害発生の危険度を着色により示した「土砂災害危険度情報」をパソコン、スマートフォン等で確認できるように提供しており、NHK鳥取放送局の地上デジタル放送（データ放送）でも、現在の土砂災害発生の危険度を確認できます。



土砂災害警戒情報

(<http://d-keikai.sabo-tottori.jp>)
パソコン、スマートフォン、携帯電話共通の上記アドレスで確認できます。右のQRコードからもアクセスできます。



2019年12月よりGPS機能が追加され、現在地における各種防災情報を統括的に提供する機能を追加しました!

③土砂災害のまえぶれ

土砂災害では、発生する前に前兆現象（まえぶれ）があるといわれています。普段とは違う異常を察知した場合は、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。



① がけ崩れ

- ・がけにひび割れができる。
- ・小石が転がり始める。
- ・樹木の異常な音がする。
- ・がけから急に水がわき出る。
- ・異常な臭いにおいがする。



② 土石流

- ・川が濁り、樹木（なまの木）が流れる。
- ・雨が降り続けているのに、川の水が減っている。
- ・山鳴りが聞こえる。
- ・異常な臭いにおいがする。



④どこが危険なの?

鳥取県では、土砂災害が発生した時に被害の及ぶ可能性のある範囲を土砂災害警戒区域として指定しています。

町から配布されている土砂災害のハザードマップ等を確認し、日頃から身の周りの危険な場所を確かめておきましょう。



※鳥取県ホームページにおいて、「とっとりwebマップ」で検索すれば、確認できます。

～災害から身を守ろう～

近年、地球温暖化による異常気象の影響により、これまでに経験したことのない甚大な災害が全国各地で発生しており、日野管内でも大きな被害が生じています。

今後の台風シーズンに向け、災害に対する意識を高め、災害から身を守る知識を身につけることが大切です。

日野振興センターでは、土砂災害から人命や財産を守るために様々な対策工事を実施しています。しかし、災害発生の可能性がある箇所が至るところにあるため、それら全部に災害を防ぐ施設を造るには、長い時間と多額の費用を必要とします。まずは、土砂災害から身を守るために安全な場所へ避難しましょう。



ひの防災レンジャー 博田隊員

平成30年台風24号により国道をこえて人家敷地内まで土砂が流出（日南町萩原）



災害関連緊急砂防事業により 令和2年3月25日に透過型堰堤完成



①土砂災害とは

大雨により、山や住宅地にある急な斜面が崩れ、また崩れた土砂や木が雨水や川の水と混じって流れてくることによって、人命が奪われ、家や田畑や道路が土砂で埋まる災害を土砂災害と呼んでいます。

土砂災害は、大きく3つに分類することができます



ひの防災レンジャー

日野振興センターでは、地域の皆さんの防災意識を高めいただくため、「ひの防災レンジャー」を組織して、地域や小学校等で防災教育を行っています!

「ひの防災レンジャー」とは

職員で構成する土砂災害・水害に関する防災教育を実施するプロジェクトチームの愛称です。

広く自治会等で出前講座・小学校等で防災教育を行うことで、地域の危険な箇所や防災情報の周知に繋がり、防災意識の高揚、早期避難などの地域の防災力向上が図られます。

防災教育・出前説明会の開催については、お気軽にご相談ください。



【昨年度の活動実績】
小学校の防災教育 1校
地域の出前説明 2地区



令和元年9月



①がけ崩れ

急な斜面が崩れることをがけ崩れといいます。大雨の時に、一瞬のうちに起こることが多いため、家が壊れて、人命が失われることが多い災害です。



②土石流

土石流というのは、山から崩れてきた土や石や岩が水と一緒に、ものすごい勢いで流れ落ちてくる現象です。



③地すべり

地すべりは、斜面が広い範囲にわたって動くものです。家や田畑なども一緒に地面が大きな塊のまま動きます。

新嘗祭

今年江府町から献上

秋に宮中で執り行われる新嘗祭に、鳥取県代表として森田照男さん(江府町)が奉仕者に決定され、5月12日(火)に貝田原の斎田において神事と田植式が行われました。

新嘗祭は、天皇陛下自らその年の豊かな豊作に感謝し、新穀を天地の神々に捧げられるとともに、農家の労をねぎらい、来るべき年の豊作を祈願するという意義深い行事です。

江府町では、平成11年に献納されて以来、21年ぶりの奉仕となります。当日は、澄み渡る晴天の下、貝田集落の伝統芸能である「貝田傘踊り」の披露もあり、来賓の方々や集落の皆さんとともに秋の豊作を祈願しました。次の儀式は、9月の抜穂式(稲刈の儀式)です。

奉仕される森田照男さん・和江さんご夫妻はもとより、ご家族、集落等の関係者の方々も、無事秋に皇居へ献上されるまでの間、気の抜けない日々が続くこととなりますが、日野振興センターとしてもしっかりサポートをしていきたいと思っております。



斎田への記念田植



貝田傘踊り保存会による「貝田傘踊り」



大山をバックに記念撮影

日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2024 FAX:0859-72-2090
農林業振興課 農業振興室 電話:0859-72-2001 FAX:0859-72-2011

あっとびっくり!! 快適! 安全! 機械化がすすんでいた林業の現場



林業の作業は、人がチェーンソーを持って木を伐り倒しているイメージでしょうか。それが今や過去の風景となりつつあります。

下の写真をご覧ください。これは、昨年度導入された林業専用機械です。木の伐採、枝払い、丸太づくり、木を掴む機械や運搬など様々な種類があります。最近では、伐採と掘削が同時にでき、木が生い茂る山に一台で作業道を作れる機械も開発され導入が進んでいます。



日南町森林組合に勢揃いした林業機械



伐採と掘削兼用マシン
作業道づくりに使用

林業現場では、このような機械化が進みつつあり、人の手による作業は、機械が出来ない作業に限定されてきています。

機械化のメリットは、生産性が上がるのはもちろんですが、肉体的な負担が減り、安全性が高まることです。実際に現場では、チェーンソーで伐る作業と林業機械の操作を交代で行って、肉体的負担を減らしています。近頃は機械に乗りすぎて運動不足になるといった冗談も聞かれます。

右の写真は伐採と枝払い、丸太づくり機械(ハーベスタ)による間伐作業です。作業員(オペレータ)は、エアコンの効いたコックピット内でディスプレイを見ながら操作をします。さながらコンピュータゲームをするようで、「年中快適。すぐ慣れる。」と好評です。

こうした取組により作業環境が大きく改善されつつあるのが今の林業です。自然の中で、健康的で、環境に貢献する仕事として見直していただくと嬉しいです。



ハーベスタの
コックピット内



ハーベスタによる間伐作業

入牧開始 ~日野郡の和牛放牧の取組~

日野郡には江府町下蚊屋の瓜菜沢放牧場(31ha)と、日南町印賀の日南町畜産センター和牛放牧場(18ha、以下「日南放牧場」)があり、地元の農家が妊娠中の和牛を放牧しています。今年、瓜菜沢放牧場は4月30日から16頭、日南放牧場は5月7日から14頭の入牧が始まりました。

瓜菜沢放牧場には、
5戸16頭が
入牧しました。



ダニがつかないように
薬を塗布します。



放牧前の検査では、
遠くからも見分けられるよう、
脱色剤で牛の毛に
番号をかきます。

放牧された牛は、広い放牧場を早速走り回り、
牛群内の順位を決めるため喧嘩を始めたり
しましたが、すぐに牧草を食べ始めました。



放牧中の和牛は牧草だけで過ごすため、農家にとって飼料費の削減につながるだけでなく、エサやりや牛糞処理などの作業が不要となり、省力化を図ることができます。また、自然の中で運動をした牛は母子とも元気で、安産になると言う農家の声もあります。放牧場では、1ヵ月に1回程度全頭健康検査を実施します。その時に農家は新たに妊娠が確定した牛を追加で放牧し、分娩が近づいた牛を牛舎へ連れ帰ります。昨年は、瓜菜沢放牧場で4戸のべ27頭が、日南放牧場では3戸のべ26頭が放牧されましたが、どちらの放牧場も放牧頭数は減少傾向にあります。

放牧は、草がなくなり雪が降り始める11月上旬頃に終牧となります。

日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2027 FAX:0859-72-2090

日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2007 FAX:0859-72-2125

出荷者が一丸となって、愛される道の駅を目指して!

「道の駅にちなん出荷者協議会」

会長 中村 建治さん(鳥取県日野郡日南町福塚)

「道の駅にちなん出荷者協議会」は、地元の農産品や加工品などの良さを県内外の方に知っていただくとともに、コンパクトビレッジの拠点である道の駅を盛り上げるために、平成27年9月に発足しました。現在のメンバー数は個人、団体合わせて約120。日南町の米や新鮮な野菜のほか、農産物を使ったバウムクーヘン、プリンなどの新しい特産品を次々と提供しています。

道の駅には、林業のまち日南町ならではの木のコースターや、廃校となった校舎の木材で作った文房具、おもちゃのキッチンなどの木工品が豊富に取り揃えられ、子どもも大人も楽しめる道の駅として、日南町に賑わいを生み出しています。

会長の中村さんは、道の駅をさらに充実させ、今後はインターネットを活用した通信販売にも力を入れたいとのこと。

全国の方に日南町の特産品の魅力をアピールし、町の皆さんの暮らしをより豊かにしていくことを目標に元気に活動しています。



季節の果物や野菜のほか、様々な種類の加工品や木工品が並びます。特産の自然薯を使ったバウムクーヘンやプリンなどのスイーツ、日南町のキャラクターを焼き印として入れた「おっさんせんべい」、木材を組み合わせて作ったコースターなど、日南町ならではのお土産が、道の駅の魅力を高めています。

☎日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072



【会長の中村さん】
日南町は、若者にチャンスが与えられるオープンなまちです。地域ブランディングで、日南町の魅力を全国の方に知っていただき、人口減少を食い止めたいと考えています。

【つき立ての特別栽培米を並べる会員の木山さん】
道の駅に立ち寄られる県内外のお客様や町内の皆さんに、日南町の美味しいお米を味わっていただき、日南町のファンを増やしていければ嬉しいです!!

身近な動物、「タヌキ」の話 日野郡鳥獣被害対策協議会 実施隊チーフ 木下 卓也



<タヌキは間違われやすい動物です>

さて、問題です。①の写真の動物は何でしょう?

多くの方が最初に思うのが「タヌキ」ではないでしょうか。正解は「アライグマ」です。アライグマは耳の縁とヒゲが白く、鼻筋が少し黒いところがタヌキとの違いです。ちなみに②の写真が「タヌキ」です。そっくりですね。



では、次の問題。③の動物は何でしょう?

目の縁が縦に長い黒い模様のため、鼻筋が白く見えます。そのため「ハクビシン」だと勘違いされますが、これは「アナグマ」です。日野郡では「マミ」「ムジナ」の呼び方が馴染みがありますよね。④の写真が「ハクビシン」です。



タヌキは、顔でアライグマと間違われ、体形でアナグマと間違われることがあります。さらにタヌキの赤ちゃんは毛色が黒く、ツキノワグマの赤ちゃんと同じで、時々ツキノワグマの子供を保護したはずが、実はタヌキだったというニュースが流れます。

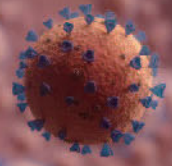
そんな色々な動物に間違われるタヌキですが、「イヌ科」の動物です。ちなみにアライグマは「アライグマ科」、アナグマは「イタチ科」、ハクビシンは「ジャコウネコ科」の動物です。見た目や大きさは似ていてもみんなバラバラなんですね。

<タヌキによる被害の相談は…>

さてさて、そんなタヌキですが、畑のトウモロコシやトマトなどに被害を出すほか、灌水チューブをかじって穴をあけたという被害や倉庫に住み着いて困っているなどの相談があります。タヌキか何か判断できないけど、困ったことがあるという場合は、お気軽にご相談ください。

☎日野郡鳥獣被害対策協議会 電話:0859-72-1399

新型コロナウイルス感染症を予防し、健康的な生活を送りましょう。



1 新型コロナウイルス感染症とは?

新型コロナウイルス感染症は、発熱、咳、倦怠感が主な症状ですが、体の痛み、鼻づまり、喉の痛み、下痢を伴うこともあります。感染者の8割は症状が軽く、医療を受けずに治癒しますが、5人に1人の方は重症化し呼吸困難を伴います。

高齢者の方や、基礎疾患(高血圧、心臓や肺の疾患、糖尿病、癌など)のある方は、重症化の危険性が高くなります。また、感染して無症状の方も、他の人に感染させる可能性があります。

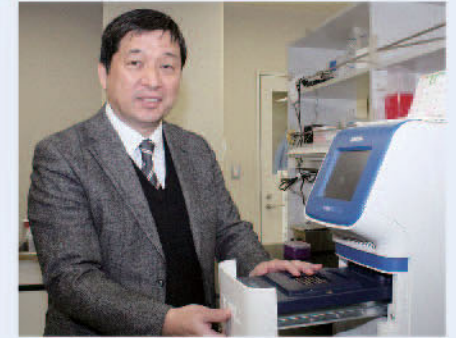
2 鳥取大学医学部ウイルス学分野 景山誠二教授から日野郡のみなさまへ!

① 高齢者が健康に暮らすために適した環境の日野郡

新型コロナウイルスは、特に高齢者の方が罹ると重症化しやすいという特徴を持つウイルスです。

ウイルスは、細胞の中でのみ生き延びることができるという特性があるため、人が密集するところを好みます。

日野郡は人口密度が低く、閉鎖空間も少ないことから、ウイルスとの闘いという意味では、優れた環境であると言えます。



鳥取大学医学部ウイルス学分野 景山誠二教授

② 筋力の低下を防ぎましょう!

朝起きてバランスのよい食事をし、適度な運動、排泄、入浴で全身を清潔に保ち、夜はしっかり睡眠をとるといった生活リズムを大切にしてください。

筋力の維持のためには、肉、魚、卵、大豆製品などのたんぱく質を食べることも大切です。

2メートル以上の距離を保ちながら、少人数で楽しく散歩をしたり、畑仕事をするのもよいでしょう。

③ ストレスコントロールをしましょう

新型コロナウイルスの流行期には、誰しも悲しみや恐怖を感じやすくなります。家族や友人と、メールや電話を活用して積極的にコミュニケーションを取り、ストレスを溜めないようにしましょう。

信頼できる機関からの情報に基づいて生活し、酒やタバコでストレスを解消するのは避けましょう。

④ ウイルスに接する機会をできるだけ作らないようにしましょう

買い物は地元の店舗を利用したり、宅配を利用するなど、知らない人と接する機会を減らすことが感染リスクを低減することに繋がります。

⑤ ウイルスに感染したかも、と心配になったら

すぐに県の発熱相談センターか、かかりつけ医に電話で相談してください。高齢者の方にとっては、軽症の段階で医療を受けることがたいへん重要です。

新型コロナウイルス感染症を予防しましょう!

- ・せっけんと流水でよく手を洗いましょう。手洗いができないときは、アルコール入りの手指消毒液を使いましょう。
- ・3つの密(密閉、密集、密接)を避けましょう。
- ・他の人と約2メートル以上の距離を取りましょう。



エチケットの徹底を!

- ・人と話す時は、熱中症に注意しながらマスクを着用しましょう。
- ・体調がおかしいと感じたら、人と会わないようにしましょう。仕事を休み、会合や冠婚葬祭にも参加しないように心掛けましょう。



3 もしも新型コロナウイルスへの感染が心配になったら

☎ 新型コロナウイルスの感染が心配な時は、鳥取県発熱・帰国者・接触者相談センターにご相談ください。

西部地区発熱・帰国者・接触者相談センター(米子保健所内)

電話:0859-31-0029 24時間対応(土日、祝日を含む) FAX:0859-34-1392 午前8時30分から午後5時15分(土日、祝日を除く)

☎ 新型コロナウイルス全般に係るご相談は、こちらです。

鳥取県新型コロナウイルス感染症相談窓口

電話:0857-26-7799・7958 FAX:0857-26-8143 午前8時30分から午後5時15分(土日、祝日を除く)

☎日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072

住み慣れた地域で暮らし続けるために 地域を守り、元気にする取組が始まっています!

日野郡では、今後急激に人口が減少し、小規模集落の維持などの課題が顕在化する中、日野郡3町と日野振興センターでは、住み慣れた地域で元気で安心して暮らせる、持続可能な地域づくりの取組を支援しています。昨年度から始まった二つの新たな取組を紹介します。

この取組を活性化し、みんなの食堂に発展することを目指し、活動をしています。



むらづくりカフェの新設(日南町阿毘縁地区)

★地域みんなの集いの場づくり・健康維持・地域内外の交流拠点づくり
団体：あげそげカフェ実行委員会

阿毘縁地区にあった唯一の商店の閉鎖で、地域の集いの場を失ってしまったため、地域の高齢者が気軽に立ち寄り、井戸端会議の場として、あげそげカフェを昨年6月10日オープンしました。月曜から金曜までカフェを開いていて、週1回は健康体操を実施し高齢者の元気づくり、健康づくりにも一役かっています。また、ときどき移動販売が訪れ、高齢者の買い物支援の場ともなっています。



【取組の声】集いの場・高齢者の健康づくり・見守り・買い物支援を含め、いつでも立ち寄れるみんなの集いの場ができました。これから、高齢者を支える活動の拠点として活用を進めます。

集落再生システムの構築(日野町諏訪集落)

★竹林伐採による景観整備と活用によるコミュニティビジネス
団体：諏訪自治会

諏訪集落では、昨年度集落再生システム構築事業への取組をきっかけとして、集落にはびこる竹林(景観悪化・生活に支障・耕作に支障)を何とかしたいとして取組を始めました。

竹を伐採し、集落の美しい里山の景観を取り戻し、伐採した竹は竹炭、竹パウダー、竹細工など地域の特産品化する取組を始めています。

今後、特産品づくりの実践と研究を重ねてコミュニティビジネスを進めていこうと思っています。

【取組の声】地域の課題となっていた景観整備を始めることができました。竹炭や竹パウダー、竹細工の特産品づくりの夢が一歩進みました。

この取組を始めたことで、地域の一体感や連携がより一層強くなりました。今では、みんなが集まり「わいわいがやがや楽しくやっています。」



日野振興センターでは集落支援の仕組みづくりのほかにも様々な地域づくりの支援を行っています。ぜひお気軽にご相談ください。

〒日野振興局地域振興課 電話：0859-72-2080 FAX:0859-72-2072



写真写真

タイトル：心いやす楽園「木谷沢渓流」
撮影者：日野町 松本 利秋 氏(写真会ひの)
撮影者コメント：大樹が生い茂る沢を、曲がりくねり音をたてて流れる清流。沿って散策道も整備。木漏れ日が苔むした岩草を照らし、鳥のさえずりも。ここは国立公園大山(ブナ林を水源)から流れる木谷沢渓流(江尾から12km・旧エバーランド奥大山付近)。散策は木陰で夏でも涼しく、自然に親しみ心をいやす楽園だ。樹木には名前が付けられており、嬉しい限りです。近くには、大山からの恵みの地下水を汲み上げて江府町営を始め、サントリー天然水奥大山工場など4社が操業しています。